

大阪・関西万博における JICA関連の取組み

2025年10月版

2025年日本国際博覧会協会との包括連携協定

- JICAは、2025年日本国際博覧会協会（以下、博覧会協会）と2021年3月に包括連携協定を締結しました。本協定は、相互の連携強化を図ることで、2025大阪・関西万博への機運を醸成しつつ万博を成功に導くとともに、SDGsの達成及びSociety 5.0の実現に貢献することを目的に締結したものです。
- 本連携協定のもとで、JICAは、2025大阪・関西万博の事前準備段階から会期中のイベント・展示など、様々な形で協力・連携しました。



包括連携協定締結の様子

1. 万博会場におけるJICA関連の取組み

(1) テーマウィーク

- ・ テーマウィークは、世界中の国々が地球的規模の課題の解決に向け、対話によって「いのち輝く未来社会」を世界と共に創造することを目的として行う取り組みです。約1週間ごとに異なる地球規模課題がテーマとして設定され、主催者だけでなく、公式参加者、日本国政府・自治体、共創事業参加者、出展企業等の万博参加者及び全国の自治体や産業界等が集い解決策を話し合う「対話プログラム」と、具体的な行動のための「ビジネス交流」等が実施されました。
- ・ JICAでは、下記の通りテーマウィークを開催しました。いずれも会場はテーマウィークスタジオです。

日時	テーマ
4月25日(金) 10:30~12:00、 14:00~16:00	(未来への文化共創) 世界と日本を変える力～JICA海外協力隊と外国人材と共に地域を創る～ (第一部:「地域の国際化の推進」、第二部:「多文化共生社会の実現」)
6月20日(金) 10:30~12:00	(健康とウェルビーイング) こどもの未来を育むために:母子手帳と母子保健分野におけるデジタルソリューション
8月3日(日) 14:30~16:30	(平和と人権) 難民課題の解決を目指すビジネスアイデアコンテスト
8月10日(日) 10:00~12:00	(平和と人権) チョコレート美味しく食べ続けるために、私たちができること
10月5日(日) 10:00~12:00	(SDGs+Beyond いのち輝く未来社会) JICAと考えるSDGsと途上国のいま、そしてこの先



4月25日のパネルディスカッションの様子

- ・ なお、「難民課題の解決を目指すビジネスアイデアコンテスト」では、アフリカの難民と難民受け入れ地域の課題解決に向けた革新的なビジネスアイデアコンテストの本選を実施しました。当日は、本選に先駆けてウガンダで実施する、難民当事者及びホストコミュニティを対象としたビジネスアイデアコンテストの入選アイデアを紹介しました。なお、JICAは今後、入選したビジネスアイデアの事業化に向けた支援を行います。

1. 万博会場におけるJICA関連の取組み

(2) ジュニアSDGsキャンプ

- ・主に小学生から高校生を対象とし、SDGsや環境問題について自ら主体的に考え、国際交流や行動変容につながる持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development:ESD)実践の場として、体験型プログラムを開催しました。
- ・JICAでは開発途上国に派遣中のJICA海外協力隊員とオンラインでつなぎ、派遣国で課題となっている気候変動、脱炭素、プラスチック問題等、SDGsや環境問題等に関する現地の状況を紹介し、参加した小中高校生と意見交換・交流を行いました。

月	開催日	月	開催日
4月	15日(火)、21日(月)、28日(月)	8月	5日(火)、12日(火)、18日(月)、25日(月)
5月	7日(水)、12日(月)、16日(金)、19日(月)、27日(火)	9月	1日(月)、8日(月)、16日(火)、22日(月)、29日(月)
6月	2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、30日(月)	10月	6日(月)
7月	10日(木)、14日(月)、22日(火)、28日(月)		

テーマ:「途上国と生中継！ JICA国際協力出前講座」
 場所:サステナドーム

※時間帯は全日共通であり、原則各日全3回を予定。
 第1回:11:00～12:00
 第2回:13:00～14:00
 第3回:15:00～16:00



4月15日はパプアニューギニアと接続

1. 万博会場におけるJICA関連の取組み

(3) 開発途上国のパビリオン出展支援

- JICAは、2025大阪・関西万博への出展を希望する開発途上国に対して、日本政府の公約のもとで行う「途上国支援プログラム」の一環として、2023年3月から2024年7月にかけて、「途上国出展企画支援」を行いました。
- 「途上国出展企画支援」では、パビリオンタイプB及びCで出展する国（下記）の関係者に対して、万博のテーマに沿った魅力的な出展計画を作成できるよう、展示デザイン案のコンサルテーションや招へい支援等を実施しました。
- 2025大阪・関西万博への来場者が途上国の展示や関係者との交流を通して、当該国の魅力に触れ、また展示の中で触れられた日本のODAによる協力についても知る機会となりました。

場所	国名(50音順)
コモンズ-A (常設)	イエメン、ウガンダ、エスワティニ、ガーナ、ギニアビサウ、キルギス、グレナダ、ケニア、コソボ、コモロ、サモア、スリナム、スリランカ、セーシェル、セントクリストファー・ネイビス、セントルシア、ソロモン諸島、トリニダード・トバゴ、トンガ、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、バルバドス、ブルンジ、ボリビア、マラウイ、モーリシャス、ルワンダ、北マケドニア
コモンズ-B (常設)	エチオピア、ガイアナ、ガンビア、コートジボワール、ザンビア、ジブチ、ジャマイカ、ジンバブエ、セントビンセント、ソマリア、タンザニア、ツバル、ドミニカ共和国、ナウル、ハイチ、パラグアイ、フィジー、ベナン、ミクロネシア、モーリタニア、レソト王国、中央アフリカ、東ティモール
コモンズ-D (常設)	アンティグア・バーブーダ、カメルーン、ギニア、キューバ、コンゴ民主共和国、サントメプリンシペ、スーダン、タジキスタン、トーゴ、ナイジェリア、パレスチナ、ブータン、ブルキナファソ、ベリーズ、ホンジュラス、マーシャル、マダガスカル王国、マリ、モルドバ、モンゴル、ラオス、リベリア、赤道ギニア、南スーダン
その他、単独パビリオン (常設)	エジプト、カンボジア、セネガル、チュニジア、バングラデシュ、ベトナム、モザンビーク、ヨルダン

- なお、なお、ジンバブエ（コモンズ-B）及びマーシャル（コモンズ-D）会場では、当該国へ派遣中の海外協力隊員が出展企画・運営や来場者対応などの活動に従事しました。
- ほか、帰国した海外協力隊員が、ヨルダン館、国連館等でスタッフ等として採用され、海外ボランティア経験を活かした活動を行いました。

1. 万博会場におけるJICA関連の取組み

(4)TEAM EXPO 2025／ベストプラクティス「共創の力で築く持続可能な未来：JICA/DRLCの防災プラットフォーム」

- ・ JICA関西による「共創の力で築く持続可能な未来：JICA関西/DRLCの防災プラットフォーム」を含む国内外25件の取組みが、世界の重要な課題を解決する取組みとして、博覧会協会の「共創チャレンジ」（万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するための活動）のベストプラクティスとして選出されました。(2024年11月)。【参考】[2025年日本国際博覧会「ベストプラクティス」を選定 | EXPO 2025 大阪・関西万博公式Webサイト](#)
- ・ DRLC(国際防災研修センター／Disaster Reduction Learning Center)は、1995年の阪神・淡路大震災の後、国連防災世界会議「兵庫行動枠組」(2005年)を経て、JICAが兵庫県と共同で2007年に設置したものです。日本の大災害から得た防災の経験と教訓をもとに、海外の行政官・専門家との知見共有(研修)、国内向けには市民、在留外国人に対して防災に関する情報発信やワークショップなどを実施しています。
- ・ 会期中、会場(フューチャーライフヴィレッジ内ベストプラクティス展示スペース)内でパネル展示・動画放映が常設で行われたほか、以下のイベントに登壇しました。

日時	場所	テーマ・内容等
5月8日(木) 13:00～17:00	フューチャーライフヴィレッジエリア	ベストプラクティスデー出席(受賞者による活動紹介、受賞者同士での交流会他)
10月7日(火) 18:15～20:00	テーマウィークスタジオ	ベストプラクティス受賞者25組の中から選出された4組(海外2組、国内2組)によるパネルディスカッション



ベストプラクティスの展示の様子

【参考】 [世界を変えるのは何か？ ～ベストプラクティスに学ぶ未来へのヒント～](#)

1. 万博会場におけるJICA関連の取組み

(5) ひょうごフィールドパビリオンの展示

- JICA関西は、兵庫県が県内各地での持続可能な取組みを地域の人々が自ら発信するプログラム「ひょうごフィールドパビリオン」の認定を2023年に受け、同プログラムの推進に貢献しています。会期中、取組みの様子を下記の通り紹介しました。
- 須磨学園夙川中学校の生徒がJICA関西の「ひょうごフィールドパビリオン」を取材。その動画が「ひょうごの宝探しプロジェクト」に入賞。関西パビリオンの兵庫県ゾーンで放映されました(常設展示)。
- 「人と防災未来センター」との共同出展:ひょうごフィールドパビリオン認定プログラム提供者が一堂に会し、SDGsを体現する取組みを発信する「ひょうごフィールドパビリオンフェスティバル2025」にて、JICA関西と「人と防災未来センター」が共同でブースを出展しました。

日時	場所	テーマ・内容等
5月30日(金) 11:00~19:00	ギャラリーWEST	ブース出展(パネル展示・体験)

【参考】

[JICA関西センターのプログラムが「ひょうごフィールドパビリオン」に認定](#)
[ひょうごフィールドパビリオン](#)



「ひょうごフィールドパビリオン」展示の様子

1. 万博会場におけるJICA関連の取組み

(6)認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえによる「世界とごちそうでつながろう」

- 認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえによる会場内でのイベント「世界とごちそうでつながろう」で、JICA留学生による「こども食堂」での体験発表等を実施しました。

日時	場所	テーマ・内容等
6月7日(土) 13:30-16:30	フューチャーライフエクス パリエンス	「世界とごちそうでつながろうーJICA 留学生と考えるこども食堂と多文化共 生」(JICA留学生からの「こども食堂」で の体験発表)

1. 万博会場におけるJICA関連の取組み

(7) 小山薫堂氏プロデュース「EARTH MART」

- 放送作家であり京都芸術大学副学長の小山薫堂氏が、「食」を通じた展示を行うパビリオン、「EARTH MART」をプロデュースしました。JICAの海外ネットワークも活用し、その展示の一部を支援しました。(常設展示)



EARTH MARTの外観

(出所)<https://expo2025earthmart.jp/news/574>



「世界のレシート」(JICAが取材協力)の展示

(出所)<https://expo2025earthmart.jp/news/574>

1. 万博会場におけるJICA関連の取組み

(8) 日本と内陸アジア協力の架け橋～日本の協力成果と音楽演奏・パフォーマンス

- ・ 内陸アジア地域を紹介するイベントを開催しました。このイベントでは、内陸アジア(キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン、モンゴル)の各パビリオンの出展企画の策定に対してJICAが行った支援を紹介し、また、万博のサブテーマ(いのちを救う、いのちに力を与える、いのちをつなぐ)に沿った、内陸アジア地域のJICAの協力成果・インパクトにかかる帰国研修員の取組みを紹介しました。
- ・ 併せて、これらJICAの支援だけでなく、内陸アジア地域の文化・観光情報を各国の伝統的な音楽・踊りを交えて発信しました。

イベントの概要(英語) [Where We Work - JICA](#)

日時	場所	テーマ・内容等
5月30日(金) 11:00～18:00	フェスティバル・ステーション	日本と内陸アジア協力の架け橋～日本の協力成果と音楽演奏・パフォーマンス(イベント)

1. 万博会場におけるJICA関連の取組み

(9) JICA-UNDP共催「アフリコンバース@大阪・関西万博2025」

- TICAD(アフリカ開発会議)とアフリカ開発をテーマとした対話型イベント「AFRI CONVERSE(アフリコンバース)」の通算22回目を、JICAとUNDPは、TICAD9が開催される2025年のアフリカの日(5月25日)に、万博の会場で開催しました。
- 日本やアフリカの人々を魅了し、日・アフリカ間の産業や文化の深化にも寄与してきた「アフリカ布」をテーマとし、ファッションショーを取り入れた対話型イベントを開催しました。

イベントの概要

[開催報告：アフリコンバース2025第2回@大阪・関西万博「織りなす文化：アフリカンテキスタイルの魅力を探る」](#) | [アフリカひろば - JICA](#)

日時	場所	テーマ・内容等
5月25日(日) 13:40-15:10	フェスティバル・ステーション	アフリカ布の魅力と背景を、ファッションショーとトークセッションを通じて紹介。

1. 万博会場におけるJICA関連の取組み

(10)ドミニカ共和国パビリオンの展示及びナショナルデーイベント

- ・パビリオンタイプCで出展するドミニカ共和国の展示コンセプトや出展計画の策定を支援しました。さらに、ドミニカ共和国パビリオン内では、JICAが同国で実施した「アーティスト・キッズとの共創を通じた新たな開発協力の可能性に係る情報収集・確認調査」から生まれた新規事業「Artist in Project」の成果品2点を展示しました。

展示品：

- ・ドミニカ共和国の伝統服「チャカバーナ」と日本の着物を融合させた「和チャカバーナ」
- ・ドミニカ共和国で採集可能な植物・ハーブをブレンドしたシグネチャーフレグランス

- ・ドミニカ共和国大使館主催のナショナルデーでは、以下のイベントを実施しました。

日時	場所	テーマ・内容等
8月23日(土) 11:00-12:00	ナショナルデーホール 「レイガーデン」	伝統音楽とダンスパフォーマンスの実施。 会場入り口にてフレグランスオイルを展示。
8月23日(土) 16:00-16:30	大屋根リングの下	伝統音楽、伝統衣装、ダンスパフォーマンスを通じてドミニカ共和国の文化を伝えるパレードの実施。 和チャカバーナを着た関係者が参列。

1. 万博会場におけるJICA関連の取組み

(11)ペルー北部観光PRイベント

- ペルー北部のアマソナス州において観光開発を通じた貧困削減と地域開発に取り組んできました。この度、JICAはペルー大使館と協力して、同州でのJICA協力成果の発信、及び、同州が位置する北部観光の紹介イベントを行いました。

日時	場所	テーマ・内容等
9月6日(土) 【第1回】 12:00-13:00 【第2回】 14:30-15:30	ペルーパビリオン内	・ペルー北部観光に関する紹介動画の 上映や説明。

<JICAのこれまでの取組み>

- [エコミュージアム開発によって地域一体で世界遺産登録を目指す【ペルー】 | JICA MAGAZINE | 広報誌 JICAマガジン](#)
- [ウトウクバンバ渓谷上流地域における文化的景観の持続的な開発促進プロジェクト | ODA見える化サイト](#)
- [アマソナス州地域開発事業 | ODA見える化サイト](#)

1. 万博会場におけるJICA関連の取組み

(12)大エジプト博物館トークショー

- 今年11月1日に公式開館された大エジプト博物館(GEM)。GEMは、単一文明を扱う世界最大級の博物館です。
- 2006年より、円借款を通じGEMの建設を支援してきたほか、2008年からは保存修復、運営、マネジメント能力等の強化を目的とした技術協力を行ってきました。
- GEMは、JICAが出展企画支援を実施したエジプトパピリオンでも紹介されました。

日時	場所	テーマ・内容等
9月22日(月) 16:30~18:30	万博会場内 アフリカンダイニングホール PANAF	GEMの見どころや、日本による協力内容を紹介。

1. 万博会場におけるJICA関連の取組み

(13) セントロアメリカ8 中米8か国観光PRイベント

- 2025年3月より「SICA地域持続可能な観光／コミュニティベースドツーリズム振興のための能力強化プロジェクト」を開始し、中米統合機構(SICA)加盟の8か国における“持続可能なコミュニティツーリズム”の取組みを支援しています。万博会場中に、ベリーズ、グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ、パナマ、ドミニカ共和国の各国代表が来日し、各国の観光の魅力を紹介するイベントを開催しました。
- 同イベントでは、中米・カリブ地域の豊かな自然、色彩豊かな文化、そして人々の温かさに触れることができ、また、現地の観光情報やプロジェクトを学べる展示をしました。

日時	場所	テーマ・内容等
9月28日(日) 15:30-17:30	万博会場内 ポップアップステージ東内	・各国観光地の魅力紹介（ビデオ、写真、組織の代表による紹介）

<JICAのこれまでの取組み>

- ・[中米統合機構\(SICA\)向け技術協力プロジェクト討議議事録の署名:中米・カリブの観光振興のため、地域住民主体の観光地経営能力強化に貢献](#)
- ・[—中米・カリブ地域の観光産業のために— 新技術協力プロジェクトのローンチ実施報告](#)

1. 万博会場におけるJICA関連の取組み

(14) チリの国際協力軌跡の紹介イベント

- ・チリと日本の協力の物語を体感できるプログラムを実施しました。
- ・10月6日(月)から8日(水)の3日間、チリパビリオンにおいて、チリ国際協力開発庁(AGCID)が歩んできた国際協力の軌跡を写真や映像で紹介するとともに、座談会を開催しました。
- ・座談会では、防災やボランティアをテーマに、国際協力の第一線で活躍している方や、チリの元海外協力隊員が、その経験や想いを紹介しました。

日時	場所	テーマ・内容等
10月6日(月) 15:00-16:30	チリパビリオン	・オープニングセレモニー ・チリ国際協力35周年ビデオ上映
10月7日(火) 12:00-13:30	チリパビリオン	・チリと日本の協力についてのビデオ上映 ・座談会 チリ国際協力開発庁(AGCID)オファリル長官、JICA中南米部代表等 ・日本・チリパートナーシップ・プログラムJCPP2030ビデオ上映

日時	場所	テーマ・内容等
10月7日(火) 15:00-16:00	チリパビリオン	<ul style="list-style-type: none"> ・チリ国際協力開発庁(AGCID)によるボランティア活動ビデオ上映 ・座談会 チリ国際協力開発庁(AGCID)オフィシャル長官、JICA青年海外協力隊事務局代表、JICA海外協力隊OB代表等 ・JICAボランティア事業への感謝状授与
10月8日(水) 12:00-13:00	チリパビリオン	<ul style="list-style-type: none"> ・座談会 チリ国際協力開発庁(AGCID)オフィシャル長官、JICA地球環境部防災グループ代表等 ・「津波レディース」上映
10月8日(水) 15:00-16:00	チリパビリオン	<ul style="list-style-type: none"> ・チリ国立総合自然災害管理研究センター(CIGIDEN)の防災教育の取り組み紹介。 ・チリ国立総合自然災害管理研究センター(CIGIDEN)による講演。

上記、万博会場におけるイベント・展示の取組みに加えて、2025大阪・関西万博に向けた機運醸成や、会期を通して地域と途上国や世界をつなぐ各種イベントへの協力を開催しました。

2. 万博会場以外におけるJICA関連のイベント・展示等

(1)内閣官房「万博国際交流プログラム」における自治体の取組みとの連携

- ・内閣官房では、2025大阪・関西万博を契機に、全国各地域において、地域住民と万博参加国・地域の関係者が、地方公共団体の事業を通じて継続的に国際交流していくための枠組み「万博国際交流プログラム」を2024年度から2025年度にわたり実施し、参加国・地域との相互理解や国際交流を通じた地域の課題解決・活性化などの取組みを支援しています。
- ・具体的には、万博の理念や共通の課題等への理解を深めるための事前学習を含め、地域の住民等と交流相手国の万博関係者や出身者等とが継続的に交流していくため地方公共団体が交流相手国と行っていく事業に対し、支援を行うものであり、参加自治体は、交流計画の提出・国の審査を経て、登録・公表されています。
- ・JICAは、例えば、大阪府高石市が主催したマダガスカルフェア(2024年10月15日～20日)において、派遣中のJICA海外協力隊員(高石市出身)のビデオメッセージの上映、協力隊事業の説明を行うなど、一部の自治体と連携して、本プログラムの実施に協力しました。



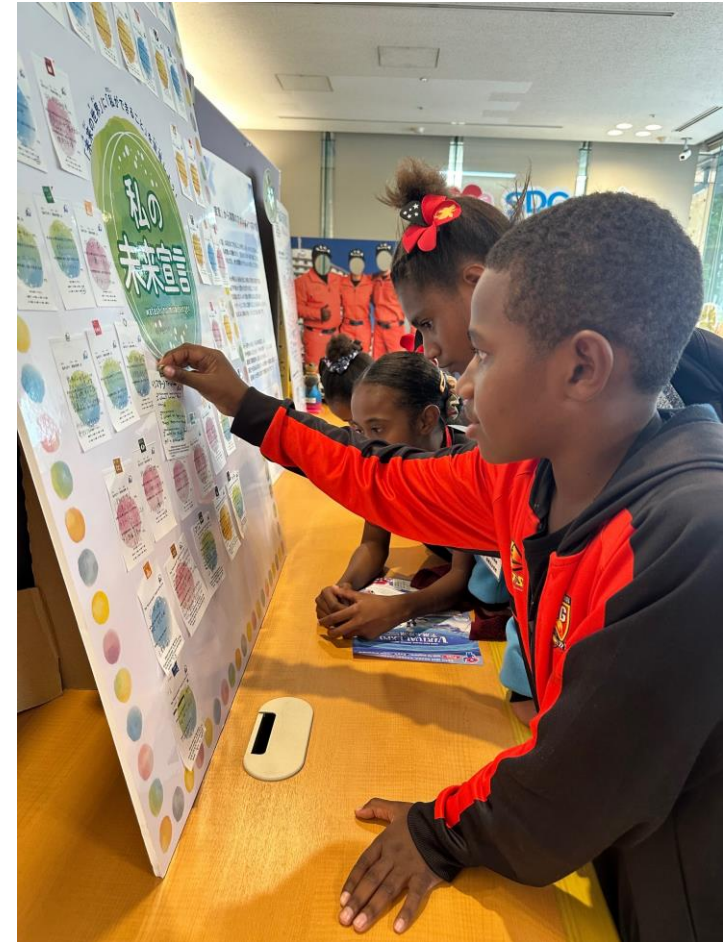
マダガスカル隊員からのビデオメッセージ

【参考】 [万博国際交流プログラムについて | 内閣官房ホームページ](#)

[【高石市×マダガスカル マダガスカルフェア2024】派遣中隊員から高石市の中学生にメッセージ](#)

2. 万博会場以外におけるJICA関連のイベント・展示等 (2)「私の未来宣言」の収集

- JICA関西センターでは「1. (5)」のひょうごフィールドパビリオン関連の取組みとして、各種イベント、訪問プログラム(※)などを通じて「私の未来宣言」(世界の開発課題を自分事にとらえ、何ができるかを一人ひとりに宣言してもらう取組み)として648の宣言を収集しました。
- (※)JICA関西センターを訪問し、国際協力や異文化について学ぶもの。学校の社会見学などに利用されています。



「私の未来宣言」の実施の様子

2. 万博会場以外におけるJICA関連のイベント・展示等

(3) 万博関連の出前講座の実施

- 大阪府堺市での「勝手に万博応援し大使」と題した出前講座など、自治体と連携した各種イベント、展示等を実施しています。
- [出前講座:万博勝手に応援し大使！in堺市立熊野小学校 | 日本国内での取り組み - JICA](#)



ザンビアの国旗に使われる色について説明



いろんな国に興味津々の児童たち

2. 万博会場以外におけるJICA関連のイベント・展示等

(4)「いのち会議」事業への協力

- 大阪大学、関西経済3団体(関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会)が推進する「いのち会議」(SDGs達成やポストSDGsを見据えた各種取組み、万博で発表した「いのち宣言」の取りまとめ等を実施)の各種事業の実施にあたって協力しました。
- いのち会議 – 「いのち会議」とは、「いのち」とは何か、「輝く」とはどういうことか、「誰一人取り残さない」ために何をなすべきかを、あらゆる境を越えて考え、話し合い、それぞれが行動に移す場です。



4月26日の「いのち会議」万博会場キックオフの様子



4月26日に公開された
「いのち宣言」暫定縮刷版

3. その他万博関連の取組み

(1) 途上国の人材育成

- 2025年2月から10月にかけて、ASEAN及びモンゴルを対象に、主に博覧会協会でのOJTを通じて、2025大阪・関西万博のような大規模国際イベントの運営に係る知見を高めてもらうための研修員受入を実施しました。この研修では、観光庁の協力の下実施する日本国内の観光振興に向けた取組みの視察・対外発信、関西経済連合会を通じた企業等視察、大阪大学の「いのち会議」関連の活動の実施支援等も実施しました。

【参考】 [ASEAN及びモンゴルからの研修生の受け入れについて | EXPO 2025 大阪・関西万博公式Webサイト](#)

[大阪・関西万博にあわせた研修員受入の開始：途上国での博覧会及び国際会議開催能力向上を後押し](#)



研修員が博覧会協会機副事務総長(写真前列右から二人目)を訪問



研修の様子

3. その他万博関連の取組み

(2) 研修(知見共有)プログラム参加者への万博の紹介

- 世界各地からの全参加者(年間約1,000名、国づくりの中核を担う行政官たち)に対して、万博の概要を紹介し、機運醸成イベントへの参加も勧奨するなど、帰国後の母国における万博への関心向上に貢献しました。



※各国研修員への万博事業の紹介



※万博関連事業への参加

3. その他万博関連の取組み

(3) JICA留学生による大阪の企業と万博会場の訪問

- 大阪ヘルスケアパビリオンに出展した大阪の企業7社とJICA留学生約40名が新しい関係を構築しました。JICA留学生は、最初に八尾市等の企業の視察・インタビュー等を通じて、日本・大阪の中小企業の特長や強みを理解しました。その後、万博展示会場を訪問し、八尾市の展示(9/16~22)、大阪商工会議所の展示(9/23~29)を含む万博全般を視察しました。JICA留学生はこの過程で得た学びや気づきをSNS等で発信しました。(共催:公益財団法人太平洋人材交流センター(PREX))



(出所)<https://2025osaka-pavilion.jp/pre/overview/>



(出所)<https://2025osaka-pavilion.jp/pre/overview/> 24